

# 済生会だより

～まえばし～

社会福祉法人 群馬県済生会前橋病院

〒371-0821 群馬県前橋市上新田町 564-1 TEL.027-252-6011 FAX.027-253-0390  
http://www.maebashi.saiseikai.or.jp



\*写真がご趣味の患者さん、ぜひ1階地域連携室までご連絡ください。



～群馬県済生会前橋病院の理念と基本方針～

理念  
愛と希望

- 基本方針
- 一、私たちは、患者さんに公正な医療を提供します。
  - 一、私たちは、患者さんの人格・意志を尊重します。
  - 一、私たちは、医療の質の向上をめざし、常に努力します。
  - 一、私たちは、地域社会の要望に対応した医療・福祉の充実をはかります。
  - 一、私たちは、互いに信頼し、感謝する心で仕事に取り組みます。

## なでしこらむ

【ラッパスイセン】漢字で書くと『喇叭水仙』。英名はTrumpet narcissus (トランペット ナルキッソ)。ヒガンバナ科スイセン属の多年草。副花冠が長くラッパのようなので“ラッパスイセン”と呼ばれる。ギリシア神話では、学名の由来ともなっているナルキッソスの生まれ変わりといわれている。

南ヨーロッパ・地中海沿岸が原産地。西ヨーロッパのスペイン、ポルトガルからドイツ、イギリスにかけて分布する。ウェールズ（イギリスを構成する国の一つ）の国花の1つ。

花言葉は、尊敬、心づかい、復活など。花期は冬から春にかけて。

黄金色の聖杯のような優雅な花は復活祭には欠かさない花だそうです。（撮影者：新井利雄さん）

## 歓迎！ 新入職者の皆様

看護部長  
源内 和子



※22年度から新人看護職員研修が努力義務となります。

桜の花が満開の季節となりました。4月、企業では新入社員を迎えて、組織も活気に満ちあふれている今日この頃。当院も今年度は20名の看護職員を迎えました。うち新卒の看護師は11名です。看護師は学生時代に看護の基礎を学んできますが、就職して実践の場で即戦力というわけにはいきません。看護師免許を取得しても彼女たち自身の不安感が強く、生命に向き合う現場で立ちすくんでしまうという光景は今に始まったことではありません。このような新人の不安を軽減すべく、時間をかけて新人研修を行い、徐々に現場に定着させようとする施設が増えています。当院は数年前からプリセプターシップといい、3年から4年先輩の看護師が新人を見守りながら指導していく体制を構築し、組織全体で新人を育てております。しかしすべての施設が研修を実施出来るわけではありません。今年度、厚労省は「新人看護職員研修の努

力義務化」を規定し4月1日より新人を迎えるすべての医療機関に施行されました。

看護の質の向上や安全な医療の確保、更に看護師の定着の観点から重要な取り組みとされています。先にも述べたように当院は新人看護師に対して1年間のフォローアップ体制を構築しています。それにより看護師の離職率は全国平均を下回りました。

今年度、厚労省からの「新人看護職員研修ガイドライン」に則り、更に研修体制の充実を図りました。基礎教育の見直し、そして新人が最も不安と思われる救急現場の対応や注射・与薬の技術、感染防止の標準予防策の徹底など必要な技術の習得に力を入れ、集合教育と現場教育を合わせて実施していきます。また、技術のみでなく、看護師として臨床現場でしか味わえない「看護の楽しさ」「看護のやりがい感」をスタッフと共に感じてもらえるよう、看護師としての必要な基本姿勢と態度、豊かな感性を磨いてもらいたいと切に思います。

私たちも、新人看護師の活気あふれる息吹を感じ、共に成長していきたいと思っております。新人看護職員に対する周囲の温かな見守りとご支援をよろしくお願い致します。



## 最先端技術を導入した 内視鏡室

消化器内科部長 家崎桂吾



最新の医療技術で診療を行うために、当院の内視鏡室は5年毎にシステムを全て新しいものにしていきます。今回の更新点について紹介させていただきます。

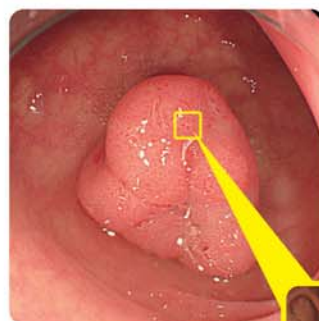
内視鏡検査は内視鏡の先端から光（白色光）で照らして観察を行います。最新の技術では補助的に特定の波長の光（ナローバンドイメージング：NBI）で照らして、微小な血管を見ることが出来るようになりました。これにより通常の光では分かりにくい病変の細かい変化も観察可能になってきました。当院で使用されている内視鏡は、経鼻内視鏡を除いて全てハイビジョン仕様ですが、大腸内視鏡においては全て拡大機能のついた内視鏡（従来のハイビジョン画像をさらに光学80倍まで拡大可能）に更新し、ナローバンドイメージングを用いた検査との組み合わせがボタン1つの操作で出来るように機器を更新いたしました。これにより今まで以上に精度の高い検査や治療が提供できるようになりました。

内視鏡検査は消化管の粘膜をよく観察するために空気を入れながら行います。そのため特に大腸内視鏡検査後ではお腹が張って苦しいと訴える患者さんがいらっしゃいます。当院では全例大腸内視鏡検査時には生体内で吸収されやすい炭酸ガスを使用できるようになり、より楽に検査が受けられるようになりました。

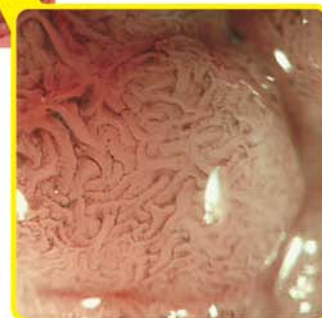
「鼻からの胃カメラ(経鼻内視鏡)」も当院では人間ドックで希望者に対して行っています。内視鏡検査に対する抵抗感をなくした点では画期的ですが、内視鏡が細いため、検査時の画像が通常のものに比べて劣ることが弱点でした。より高解像度のモニターを全検査台に設置し、弱点を克服できるようになりました。

内視鏡画像の閲覧システムも一新し、院内の全ての端末で閲覧できるようになります（5月より運用予定）。

カプセル内視鏡や小腸内視鏡も導入し、今年中に口から肛門まで全ての消化管が検査できる体制になる予定です。最先端の機器を装備した内視鏡室を宜しくお願いします。



◀大腸ポリープの通常観察



NBI拡大観察▶  
(口部分の拡大像、表面の毛細血管を見ることが出来る)



## 糖尿病地域連携のご案内

内分泌内科担当医師 荻原 貴之



近年、糖尿病あるいはその予備軍と考えられている人の数は爆発的に増加し、現在ではおよそ2,210万人の人が糖尿病あるいはその予備軍であるといわれており、糖尿病と考えられている人の内、およそ40～45%の人が治療を受けていないと考えられています。

では、どうして糖尿病は治療が必要なのでしょう。それは、糖尿病には様々な合併症があるからです。合併症の出現をなくし、健康な人と同じような生活を送れるようにすることが糖尿病の治療の目的です。しかしながら、どのようにしたら合併症の出現をなくすことができるのか、あるいは今自分には合併症が出現してしまっているのかといったことについて、わからないことが多いでしょうし、逆に様々な情報が耳に入ってきてどれを信じたらいいのかかわらないといったことがあると思います。

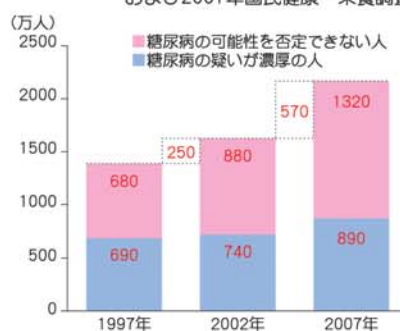
済生会前橋病院では、地域の先生方と協力して、糖尿病教育入院と連携診療を行っています。かかりつけの先生から当院にご紹介いただいた後、1週間の入院で色々な職種のスタッフによる糖尿病の合併症や治療についての解説や、様々な合併症の検査を受けていただきます。この入院で、糖尿病がどのような病気が、ご自分の糖尿病はいまどのような状態かといったことが良くお判りになることでしょう。退院後はかかりつけの先生への受診となりますが、治療の節目、節目に当院にも受診していただきます。入院中に行った検査データからそれぞれの方に最適な治療法を選択し、かかりつけの先生と情報を共有することによってよりよい治療法を作り上げていくことを目的としています。

糖尿病あるいは糖尿病境界型と診断された方、今ご自身の糖尿病がどのような状態になってい

るかより詳しくお知りになりたい方、糖尿病の合併症について知識を深めたい方は、かかりつけの先生にご紹介いただき当院をご受診下さい。

### 糖尿病が強く疑われる人および糖尿病の可能性を否定できない人の推計

(1997年、2002年厚生労働省糖尿病実態調査および2007年国民健康・栄養調査より)



1997年に行われた糖尿病実態調査では、「糖尿病が強く疑われる人」は日本人のおよそ690万人、「糖尿病の可能性を否定できない人」は約880万人であり、合わせて約1370万人が糖尿病の可能性を否定できないことが示めされました。

2002年に行われた同様の調査では、「糖尿病が強く疑われる人」はおよそ740万人、「糖尿病の可能性を否定できない人」は約880万人であり、合わせて約1620万人が糖尿病の可能性を否定できないことが示唆され、5年の間に約250万人も増加したと考えられています。

その5年後、2007年に行われた国民健康・栄養調査では「糖尿病が強く疑われる人」はおよそ890万人、「糖尿病の可能性を否定できない人」は約1320万人であり、合わせて約2210万人となり、糖尿病の可能性を否定できない人が5年間に570万人も増えているということが示されました。



糖尿病診療支援チーム

## 診療情報管理士とは

病歴室主任 北爪 恵子



四病院団体協議会（日本病院会、全日本病院協会、日本医療法人協会、日本精神科病院協会）と医療研修推進財団の認定資格で、診療記録（通称カルテ）と診療情報を適切に管理、活用することにより、医療の安全管理、質の向上および病院の経営管理に寄与する専門的な職業です。米国では1932年にMedical Health Informationとして発足し、現在は登録医療情報管理士RHIA（Registered Health Information Administrator）という称号の専門職として養成されています。その他、各国でも同職業の養成が行われています。現在、医療機関の機能分化と連携、情報の開示、安全の確保、医療費の包括化、医療IT化推進など、新しい医療提供体制の改革が進行しています。

厚生労働省は疾病分類について、国際疾病分類ICD-10の採用・普及、手術・処置分類などについても、一定のコードに準拠する方針を明確にしました。これにより診療情報管理に必要な環境が一気に進み、診療情報管理士の業務はますます重要性を増し、情報、技術としてのIT対応など広い視野と技術の習得、日夜業務の拡大と活躍が期待されています。

（日本病院会ホームページより）

当院では6名が医事課に所属し外来係、DPC（診断群分類別包括支払請求）担当および病歴管理室でそれぞれ診療情報管理士として勤務しています。

具体的な業務として病歴管理室では退院後の診療録の点検、製本、情報の登録と提供、統計の作成です。当院の病歴管理室は昭和62年に開設され現在過去20年分の入院診療録（約10

万冊）の保管管理を行っています。また、平成21年1月よりがん医療の状況把握と地域がん登録への情報提供を目的に院内がん登録を開始しました。今後当院におけるがん治療成績等、患者さんにも情報提供できるものと考えています。

DPC担当は診療情報管理士としての知識だけでなく保険請求に関する知識も必要です。DPCにおいても重要なことは傷病名とその\*コーディングです。この正確さが、病院の質と患者さんの医療費に関係してきます。

外来係では外来診療録の管理と適正な病名のコーディング業務を行っています。

これからも私たち診療情報管理士は患者さんに安全・安心な医療と正確な情報を提供できるよう努めてまいります。



▲病歴管理室にて

\*コーディング…ICD-10による傷病名のコード化



# 快適環境づくり委員会の紹介

済生会前橋病院  
Jeisai Hospital



委員長 黒崎 みゆき

当委員会は、患者さんの満足度を高めることを目的に平成21年4月に発足いたしました。今までも各科に意見箱を設置し、患者さんの声を頂いてまいりましたが、一方的に意見を聴くだけに留まっており、患者さんの満足度向上のための取り組みが十分とは言えませんでした。この委員会の活動を通じて、患者さんと当院職員のコミュニケーションや信頼関係をより良いものにするために、患者さんの思いを感じ取り、改善していきたいと考えています。

委員会では、まず最初の活動として、昨年夏、患者さんのご意見を聴くことから始めようとアンケートを実施いたしました。設備面、接遇、食事面など様々なご意見を頂き、患者さんの思いを知ることができました。委員会の中で検討し、設備面など難しいところもありますが、改善が必要なところについては、病院と相談しながら可能な限り改善に努めていきたいと思っています。さらに、患者さんへより細かい対応ができるよう、病院ボランティアの方たちの活動内容の検討なども行っています。

昨年末には、患者さんの安らぎ・癒しを目的に、病院正面玄関前にささやかながらイルミネーションの飾り付けもいたしました。

今後委員会では、患者さんから寄せられるさまざまなご意見に対して検討し、回答を院内に掲示していくことを考えています。「こんなことを聞けないな」「これはどうなんだろう？」というようなことがありましたら、遠慮なくお申し出いただき、また意見箱を利用し、ご意見を頂きたいと思っています。

その他にも、季節毎の行事なども少しずつ取り入れていこうと思っています。

快適環境づくり委員会は、“患者さんと職員の心が通い合う済生会病院”をめざして活動していきたいと思ひます。



## 講演会 報告

どの講演会にもたくさんの方が参加され、勉強になった、自分の健康についてもう一度見直したいなどの意見が多く聞かれました。今後もこのような講演会を実施していきたいと思ひます。

■日 時：平成22年1月18日(月)  
場 所：東公民館  
講 師：副院長 吉永医師  
テーマ：インフルエンザについて  
参加者：約60名

■日 時：平成22年2月8日(月)  
場 所：前橋市中央公民館(明寿大学講座)  
講 師：循環器内科部長 福田医師  
テーマ：動脈硬化とその治療  
参加者：約360名(明寿大学生徒さん)

■日 時：平成22年3月20日(土)  
場 所：済生会前橋病院 会議室  
講 師：栄養科 米田管理栄養士  
テーマ：腎臓病講演会「腎臓病と食事療法」  
参加者：約100名



# 老人保健施設 あずま荘のご紹介

あずま荘 認知症専門棟 介護主任 篠原 好人



老人保健施設あずま荘は、済生会前橋病院の併設施設として平成元年6月に群馬県から開設許可を受け、地域の皆様のご支援により今年度で22年目を迎えることができました。当時、入所定員50名・通所定員30名で開設いたしましたが、入所者に占める認知症高齢者の割合が増加したため、より細やかなサービス提供が図れるよう平成18年4月に認知症専門棟を新設し入所定員が70名となっております。（一般棟50床・認知症専門棟20床）また、通所サービスについては、利用ニーズの増加に伴い平成10年2月に40名、平成15年10月からは50名に定員数を変更しております。

当施設の入所要件及び目的は、要介護認定を受け『要介護1』～『要介護5』と認定された方で、病状が安定し入院治療の必要のない方に対して、医学的管理のもと施設サービス計画に基づいた看護・介護及び機能訓練・その他日常生活上のお世話をを行うことにより、利用者の自立支援を促し在宅復帰を目指していただくことを目的としております。



▲行事食の一例

納涼祭の様子▶

## 認知症専門棟のご紹介

認知症専門棟では利用定員20名に対し看護職員4名・介護職員7名が配置され、一般棟よりも利用者一人当たりの職員数が多く配置されています。スタッフは認知症に対する理解を深め、利用者一人ひとりの性格を把握し、その人にあった看護・介護が行えるよう日々研鑽を積んでおります。また、常勤医師を中心に、看護・介護・リハビリ・管理栄養士・介護支援専門員などの多職種と協働することで、認知症状の緩和やサービス目標の達成に向けた支援を行っております。

あずま荘では利用者の方が毎日を楽しく過ごして頂くため、四季折々のイベントと行事食の提供を行っております。今後も皆様に喜ばれるような施設作りを目指し、職員一丸となって努力していきたいと思っております。



## 平成21年度 あずま荘 年間余暇活動計画（一般棟・認知症専門棟）

療養目標：（一般棟）一人ひとりが健康で喜びのある生活を送り家庭復帰を目指す。  
（認知症専門棟）笑顔が溢れる充実した生活を過ごす。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
行事	お花見	バラ園見学		そうめん流し	納涼祭	敬老会 ぶどう狩り	運動会	焼き芋会	クリスマス会	もちつき大会	豆まき	作品展





2010年度

【第1回症例検討会】※医療従事者向けの行事です。  
一般の方はご参加いただけません。

日 時：平成22年5月20日(木) 19:00～20:30

【第3回症例検討会報告】

2009年度 第3回症例検討会 2月23日(火) 19:00～

(症例検討) ①「ラジオ波焼灼療法と肝癌予防を見据えたC型慢性肝炎の治療」

「当院肝臓外来患者の逆紹介推進について」

済生会前橋病院 消化器内科部長 矢田医師

※参加人数：登録医31名、院外薬剤師10名、職員40名 合計81名



◆地域の皆様をリレーでご紹介します。

今回は、東地区青少年健全育成会長の小林さんのご紹介で、東地区社会福祉協議会長、大利根町自治会長、東地区自治会連合会副会長の桑子一茂さんにお話を伺いました。



（編集部）『東地区社会福祉協議』とはどのようなお仕事でしょうか？

（桑子会長）社会福祉協議会は、社会福祉法に基づいて、全国の都・県・市・町で組織されている公共性・自主性を持った民間の社会福祉団体です。

前橋市は昭和26年に設立されました。その下部組織として、昭和48年に東地区社会福祉協議会が発足しました。

多くの世代や階層の人たちが安心して暮らせる地域にするため、それらの人たちの絆を深める活動を行っています。

（編集部）日ごろ、東地区で行っている活動はどのようなものがありますか？

（桑子会長）毎年5月に、地区青少年健全育成会と共同で「のびゆく子供の集い」を開催し、福祉器具・備品の体験広場などを設置し、福祉活動やボランティア活動への理解や啓発活動を行っています。

また、地区内にある、老人クラブ連合会や民生・児童委員連絡協議会など8つの団体への活動資金援助や、高齢者を中心とした「ふれあい いきいきサロン」の実施支援、町内別のふれあい会食会、障害者や高齢者への支援配食サービス、地区戦没者追悼式、募金活動による地域助け合い運動への協力などを行っています。

（編集部）少子高齢化が進む中、会長さんはどのような取り組みを行っていますか？

（桑子会長）東地区全体では、新興住宅が増えており老若男女が混在しています。しかし、大利根町だけで見てみると、少子高齢化が進んでいます。そのため、高齢者のみの家庭や、独居老人の割合が増えています。こうした方に有事が起きた時、どのように家族に連絡を取るのかということは大事な問題です。そこで、市社協が作成予定の「安心カード」の仕組みを積極的に取り入れたいと思います。これは独居高齢者などに対し、緊急時の連絡先などを専用ケースに入れ、決められた場所に置いておき、万一の場合の措置に役立たせるものです。

また、公民館には、AEDを設置し、講師を招いて講習会を実施しています。地区の運動会や文化祭にはこのAEDを準備しています。

（編集部）済生会前橋病院について、会長さんはどのようにお感じになっていますか？

（桑子会長）通常はかかりつけの医院に行きますが、急な病気やけがの際に、近くに大きな病院があるのはとても安心です。

済生会病院では、医師や看護師、受付、ボランティアの方々がよく声掛けをしてくれます。これは大変良いことと思います。特に医師からの一声は、とても大事で重要だと思います。

『戸』（地域単位）の時代から、『個』（個人重視）の時代へ、そしてそれが今『孤』（孤独）の時代へと、『こ』の変化を感じていらっしゃる桑子会長さん。

「地域全体として、高齢者へどのように対応していくのか。人と人がふれあうコミュニケーションの場を提供していくことはとても大事です。それとともに、実生活において何が不便なのか？ということに対して手助けし、補填してあげる事が大事なのではないでしょうか。」と安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいらっしゃる桑子会長さんでした。

# 外来医師診療表

- \* 午前の一般外来の受付時間は午前8時30分～午前10時30分です（診察開始は9時です）。
- \* 午後の特殊外来は完全予約制です。
- \* 休診日は、日曜日、祝祭日、年末年始、第2・4土曜日です。
- \* セカンドオピニオン外来のお問い合わせ・お申し込みは地域連携室（027-252-1751）までご連絡ください。
- \* 総合外来の担当医師は変更することがあります。

## 午前の一般外来 <受付時間：午前8時30分～午前10時30分（診察開始：9時）>

月	内 科		循環器内科		外 科	小児科	整形外科	リハビリテーション科	眼 科	泌尿器科
	総合外来(初診) 9:00～10:30	一般 10:30～12:00	一 般	一 般 睡眠障害外来						
月	福 田	仁 平	清水【血】・菅【腎】	池 田	藍 原 神 山	大 島 【一般】	後 藤 長谷川		榎 丸 山	鈴 木 【群大教授】
火	高 田	平 松	樋口【消】・河合【腎】 並川【消】	福 田 広 井	細 内 持 田	大 島 【一般】	中 島 細 川		岸【群大教授】 石 原	
水	池 田	中里見	樋口【消】・吉永【消】 家崎【消】10:30～	福 田 宮 崎	西 田 藍 原	溝 口 【一般】	中 島 鈴木(涼)		丸 山	
木	初見	初 見	家崎【消】・高田【血】 平松【腎】・久田【呼】	福 田 池 田	細 内 持 田	大 島 【一般】	長谷川 細 川	白 倉 【第1,3】	丸 山	
金	吉 永	田 中	初見【血】・矢田【消】	池田【第1,2,3】 福田【第4,5】	福 田 【第1,2,3】	細 内 緒 方	大 島 【一般】	後 藤 鈴木(涼)	丸 山	
土	交替制		交替制 内分泌【第1,3】荻原 呼吸器【第1,3,5】岡山	福 田 池 田		乳腺外来 【第3】尾嶋 小 澤	第1:大島【-】 第3:溝口【-】 第5:鈴木【循】	第1:中島・長谷川 第3:後藤・鈴木(涼) 第5:後藤・長谷川	群 大	

## 午後の特殊外来 <完全予約制>

月	内 科・循環器内科・心臓血管外科		小 児 科	
	内 科	循環器内科・心臓血管外科	小 児 科	小 児 科
月	心臓血管外科外来	石 山・豊 田	喘息・アレルギー・慢性疾患	大 島
	内分泌外来	荻 原	循環器	鈴木(尊) 小林(心工コー検査担当)
火	血液外来	佐 倉・高 田・初 見 清 水・初 見	喘息・アレルギー・慢性疾患 慢性外来	大 島
	心臓血管外科外来	石 山・豊 田		
水	ペースメーカー外来	池田【第1,3,5】・宮崎【第2,4】		
	内分泌外来	青 木	循環器	鈴 木(尊)
	呼吸器外来	牧 元		
	血液外来	佐 倉		
木	肝臓外来	高木【第2,4】 矢 田・並 川	予防接種・乳児健診（第1,3）	大 島
	内分泌外来	荻 原	慢性外来	
金	腎臓外来	河 合・菅	喘息・アレルギー・慢性疾患	大 島
	呼吸器外来【第4】	岡 山	循環器	鈴 木(尊)

## 交通のご案内

- 新前橋駅よりタクシーで10分
- 前橋駅よりバスで20分
- 高崎駅よりバスで40分



### 上信バス時刻表案内

(済生会前橋病院発着予定時刻表)

行先	中央前橋駅行	前橋駅行	高崎駅行
7	×06	46	×05 37
8	26		07 46
9	03	43	26
10	23		06 46
11	43	03	26
12	33		16
13		23	06 56
14		13	46
15	53	03	36
16		33	16 56
17	54	13	36
18	33		16 56
19		13 48	33
20	×29		×11

×印は日祝日は運休

## お問い合わせ

代表番号  
☎027-252-6011

- 患者さんへ ● さわやか検診のお問い合わせ
- 医事課窓口 ☎027-252-6011 内線1101
  - 人間ドックのご予約  
検診センター ☎027-252-1959 (直通)
- 医療機関様 ● 初診（診察・検査・入院等）のご紹介
- 地域連携室 ☎027-252-1751 (直通)
  - CT・MRIのご予約  
放射線科 ☎027-252-6011 内線1502
- 介護関連 ● 前橋市高齢者福祉サービスのご相談
- 地域包括支援ランチあずま荘
  - 介護保険サービスに関するご相談  
居宅介護支援事業所あずま荘 ☎027-255-1511